

---

# 真・恋姫＋無双～外史を渡りし者～

レーバテイン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

真・恋姫†無双〜外史を渡りし者〜

### 【Nコード】

N7238L

### 【作者名】

レーバティン

### 【あらすじ】

真・恋姫†無双の魏章からの物語。

帰還した大陸は再び乱世に突入？！

再び一刀は大陸に安寧を取り戻す事が出来るのか！？

## プロローグ

「逝くの…?」

月が輝く晩

小川の音を聞きながら、彼女は音にかき消されてしまつかもしれない声で俺に言う。

ただと俺の体はまるで足裏から地面に根付いてしまったかのように動かない。  
しかし

彼女を抱きしめたい。

ずっと一緒に居たい。

ただと俺は彼女に微笑みかけるしか出来ない。

「逝かないで…」

彼女がまた呟く

音にかき消されてしまうのではないかと言う、悲しい声音で。

「恨んでやる」

少し不気味な台詞だが、俺は嬉しかった。

彼女が俺を恨むことで彼女は俺を忘れてくれない。

「さようなら、華琳」

## 建業〜再会の戦〜

「逝くの…?」

月が輝く晩

小川の音を聞きながら、彼女は音にかき消されてしまつかもしれない声で俺に言う。

だけど俺の体はまるで足裏から地面に根付いてしまったかのように動かない。

しかし

彼女を抱きしめたい。

ずっと一緒に居たい。

だけど俺は彼女に微笑みかけるしか出来ない。

「逝かないで…」

彼女がまた呟く

音にかき消されてしまうのではないかと言う、悲しい声音で。

「恨んでやる」

少し不気味な台詞だが、俺は嬉しかった。

彼女が俺を恨むことで彼女は俺を忘れてくれない。

「さようなら、華琳」

俺の体は消えていく。

この世界で役割を終えた俺の末路はこの世界から消えることだけ。

こうして、俺は世界から消えた。

\*\*\*\*\*

ジリリリッ！

部屋に響く目覚まし時計のけたたまし音で彼は目覚めた。

「ふう〜」

彼の名は北郷一刀。

彼はある日、三国志の世界に行ったという数奇な出来事があった。

その世界の英傑、有名な武將は全て女性で男性ではないと言う世界だった。

そんな世界で、右も左も分からない彼を拾ったのはかの陳留を収める刺史、後の魏を収める王、乱世の奸雄、曹操。

彼女は一刀の「天の御使い」として保護し、天の知識などを得る事になる。

こうして、一刀は魏軍としての乱世の戦いは始まった。

曹操、真名を華琳

真名とは真の意味たる名前

生き様や思いのこもった。誇りある名を示す。

華琳率いる魏軍は激しい戦いの末、蜀、呉の二大国を破り、天下統一を果たした。

しかし、華琳は蜀王劉備と呉王孫策と手を取り大陸の平和の為に尽くすのだった。

一刀は戦いの中で、正史とは異なる歴史を作ってしまった、その世界での役目を終え、元の世界に帰ることが出来た。

大切な仲間を彼は失った…

共に乱世を駆け抜けた戦友と呼べる仲間を…

一刀の無き後も華琳は蜀、呉に地を与え、共に大陸の安寧の為に尽くしたのだ。

その激戦の夜、一刀は華琳の前から姿を消した。

それから数年が経った。

一刀は大学生となり。

異世界とは違う、平和な世界で生活していた。

勉強をしながら大学でも剣道は続けている。

いや、剣道は彼女達を忘れない為の手段だった。

必死に剣を振るう。

それだけであの乱世を思い出す。

そして最愛の人の顔を…一刀はあらかた支度を終え、今日も学校に向かう。

祖父から譲り受けた木刀が入った包みと鞆を持ち、大学に向かう。

この木刀はなにやら由緒ある木刀らしく、祖父から剣道で学生全日本大会で3位になった時に譲り受けた。

? 「貂蝉、あれがお主の惚れた男か…なるほど確かにいい男じゃ」

? 「でしょ? でしょ? …あれから年が幾つのは早いわね」

? 「しかし…良いのか?」

? 「ん?」

? 「あやつをいくら外史の世界の為とは言え、またあの世界に行くのは…」

? 「なあゝに言ってるのよ」

あの顔を見なさいな、まだあの娘達を忘れてない

し・る・し・よん

それにあいつが動いてるなら、彼は必要な役目よん」

？「うむ…確かにな」

？「それに、あの物語の最後に納得のいかない者が新たな外史を変えてしい、あの外史が危機になる以上、あの外史を生んだ彼にはやらなくてはならないよん」

？「確かに…」

まあ、ワシも危機を感じて色々仕込みをしたしのあやつも、あの娘共に再会は喜ぶか…」

？「そうよ」

その先に困難が会っても、彼と彼女達ならやってくれるは」

？「ならば行くか…貂蝉」

？「ええ」

異世界を紡ぐための物語に」

怪しい二人の影に一刀は気づかぬまま、大学に向かって走っていた。

北「ううう…」

登校の最中、眩い光に包まれた一刀は何故か気を失っていた。

目を覚ますとそこは荒れた荒野が広がっていた。

しかも、前に見たある景色…

そう、ここは紛れもない  
かつて一刀が居た場所。

異世界。

北「はは、ははは…

笑えてきますよ…

散々、来たいとは思いましたよ…  
思っただけだよ…

はあ…

「どうなってんだよー！！！」

荒野のど真ん中（？）でとりあえず叫んでみる。

冷静になった所で自身を確認すると朝着た私服。  
周囲を見れば、木刀が転がっていた。

一刀は木刀をベルトに挟み込むように差して状況整理をするために、  
辺りを見渡すと明らかに整備された道がある。

選択肢はない。

その道に沿って歩いて行く、数時間ほど歩くと街が見えた。

嬉しさのあまり、足は軽くなり  
、走って街に向かった。

これが一刀の、一刀と彼女達の再び始まった乱世の始まり。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7238/>

---

真・恋姫†無双～外史を渡りし者～

2010年10月10日02時21分発行